

ぶらり

奥州散歩道

Vol. 44

衣の滝

(衣川区増沢地内)



①さわやかな流れを見せる衣の滝。写真下方向に滝つぼが目を引く2番滝がある ②衣の滝奥にある巨大な主滝。見事な存在感に圧倒される ③増沢ダムからの分岐点に鎮座する案内石。衣の滝へはこの石を右方向へ

稲

刈り作業が進む田園風景を眺めながら、衣川区内の県道37号花巻衣川線を北股方面に進んでいきます。岩手・宮城内陸地震の爪あとがまだ残る大平地区から増沢ダム方面へ林道に入り、さらに3きほど進んだ場所に、今回紹介する「衣の滝」があります。

高さ・幅とも約15・5m、の大きさを、木々をかき分けるように流れ落ちる衣の滝。滝は主滝とその下の2番滝の2段になっており、飛瀑がまわりの景色に映えて美しい情景を映し出しています。滝を真近で眺めることができる遊歩道も整備されており、これからの紅葉シーズンには気持ちの良い散策を楽しむことができそうです。

衣の滝の名の由来をひも解くと、周辺の主峰で衣川区随一の高さを誇る、高松能山の天女伝説につながっていきます。胆沢



区との境にある標高927mのこの山は、嘉祥3年(850年)の慈覚大師が大日如来像を安置したと伝えられ、その後の安倍氏・藤原氏時代は水上大明神として崇拝された霊山です。この山に舞い降りて遊んでいた天女が、この滝でその羽衣を洗っていたということから、衣の滝の名が付いたようです。

衣の滝や衣川最古の集落と言われる旧増沢集落周辺には、このような伝説が数多く残っています。古くは仙北街道を軸とした秋田と岩手を結ぶ交通の要衝であった名残でしょうか。

この地に伝わる言い伝えの真偽は皆さんの想像にお任せしますが、その昔この地を往来したであろう人々へ思いをさせてみるのも良いのではないのでしょうか。

◆問い合わせ先 衣川総合支所農林商工観光課(内線217)



新築・リフォーム住宅に関するご相談はお気軽に。

家族を守る、激震に耐える強い家

震度7に耐える丈夫な家が、あなたの家族と財産を守ります。

パナソニック耐震住宅工法
テクノストラクチャー
全棟構造計算書付!

木造住宅の常識を超える「新工法」。

木の温もりと鉄骨の強さを併せ持つオリジナル複合梁と接合金具を使用し、邸別に構造計算を行うことで、いつまでも安全で安心できる家を提供いたします。

丈夫で長持ち

信頼の施工・品質

高惣建設株式会社

〒023-0829 奥州市水沢区花園町一丁目1番7号
TEL: 0197-22-3111 FAX: 0197-22-3120

お問合せ
ご相談は

0120-516-812
<http://www.takasou.net/>